

山行報告書

報告書作成

2006年4月24日

山名 [山域]	越前甲	目的と方法	雪原散歩と白山展望
登山期間	2006年4月22日	山行形態	日帰りハイキング
参加人数	4人		

行動記録

4/21 岩津市民C (21:00) = 豊田東IC = 白鳥IC = (24:00) 勝原駅

4/22 勝原駅 (5:10) = 横倉登山口 (6:10 6:57) - 鉄塔 (8:42) - 大日峠 (10:09 10:29) - 越前甲 (11:54 12:26) - 大日峠 (13:09 13:23) - 横倉登山口 (14:39) = ミチノクフクジュソウ群生地 = 勝山温泉「水芭蕉」 = そば「中村屋」 = 白鳥IC = 豊田東IC = 岩津市民C (20:40)

概念図



日誌

4/21日 小雨のため 登山口でのテント泊を勝原駅に変更。23日のお天気があまり良くないため 予定変更して越前甲を優先。4/22 越前甲の横倉登山口へと向かう。林道は途中から雪道となる。前日の雨がここでは雪となり10cmほど積もっている。落石をどかし 無事登山口に着く。地形図を見ながら雪に埋もれた林道から尾根に取り付く。新雪が30cm程となり ワカン装着。新雪とはいえ重たい雪でその下の古い雪層はザラメ状ですべりやすい。鉄塔から先 大日峠までの広い斜面には雪崩れた跡のデブリもみられる為、トラバースを避けて尾根の直登を試みるが灌木と岩に遮られ 引き返し 注意しながらトラバースする。峠からは急斜面の登りとなり 不安定な斜面にピッケルを刺して確保しながら歩く。頂上は360°の展望で白山や周辺の山並み・日本海がくっきりと見え最高。下山は往路を戻る。

感想

不安定な大気が続く中やはり山は雪。この日のお天気はよく(晴天ではないが...) 周囲の山並みがくっきりと見え登山日和。道のない雪原をルートを探しながら尾根を歩いたり、トラバースしたりと 無雪期には二時間半で頂上にたてるのに 五時間かけてたどり着きました。真冬と違い暖かいのはいいのですが重たい雪の中をワカンを着けて歩くのは疲れます。急峻な岩壁の斜面には雪崩れの跡があり、この日も大きな音とともに雪崩が起きるのを目にし、大日峠までの広い斜面のトラバースは上部を見ながら間隔を空けての緊張した歩きとなりました。この日この山の訪問者は単独行の男性3人と私達のパーティーだけでした。